

3枚

プラント状況 (本店レク) 議事メモ

UJSA 24号

C- 官口連絡班

日時：平成 23 年 8 月 20 日 (土) 11:00~11:20

場所：東京電力本館 3 階大会議室

先方：記者約 25 名 (カメラ 3 台)

当方：原子力・立地本部

原子力設備管理部

広報部

配布資料：

- ・ 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ (8月20日 6:00 現在)

よりプラント状況、配付資料に関して説明。

質疑：

Q. サリーは現時点でも B 系のみ稼働している状況か。

A. 現在 B 系のみで運転をしている。A 系については、B 系の性能確認を実施してから運転を考慮しており、当面は B 系のバックアップとして待機させる予定。

Q. A 系が稼働する時期はいつ頃か。

A. 現時点では未定。B 系の性能確認を実施した後、当面は B 系のみで雑固体廃棄物減容処理建屋の滞留水を処理する予定。

Q. B 系の処理性能は  $25\text{m}^3/\text{h}$  とのことだが、それ以上の性能が出ることはあるのか。

A. B 系単体の処理性能は  $25\text{m}^3/\text{h}$  であり、それ以上の性能は出ないが、A 系と合わせる事で処理性能は  $50\text{m}^3/\text{h}$  となる。現時点では B 系のみで単独運転を行っていく予定。

Q. 現在サリー単独での運転を行っているが、当初からサリーの単独運転を目指していたのか。

A. 当初は水処理設備の不具合が重なったことや、キュリオンについてはベッセル交換の際にフラッシングを行う場合があり、その間キュリオンの装置が停止することから、その際にはサリー、アレバでの運用を想定していたもの。

サリー設置後、サリー単独での運転や、直列・並列運転を行えるモードが構築できたことから様々な運転方法が可能となっており、現時点の処理状況としては、キュリオン・アレバでプロセス主建屋を、サリー単独で雑固体廃棄物減容処理建屋の滞留水を処理している。

Q. 当面はキュリオン・アレバとサリーの並列運転を行っていくという認識でよいか。

A. その通り。

Q. 水処理設備に不具合があった場合には直列での運転になるのか。

A. キュリオンに不具合があった場合にはサリー・アレバでの運転方法になるし、アレバに不具合があれば、キュリオン・サリーでの運用となる。

Q. 淡水化装置の処理性能は  $70\text{m}^3/\text{h}$  とのことだが、今後処理性能を上げていく予定はあるのか。

A. 淡水化装置は SPT (B) に水が溜まると水処理を実施する仕組みとなっている。水処理設備が順調に稼働し、SPT (B) の水位がある一定以上確保されると、淡水化装置も連続で稼働することになるが、現時点では SPT (B) の水位を見ながら間欠運転をしている。従って水処理設備の停止時間が長くなると淡水化装置の停止時間も長くなる。

Q. 雑固体廃棄物減容処理建屋の溜まり水処理をサリー単独運転を行っており、本日 7 時時点で溜まり水の水位が 285mm 下がっている。このまま順調に処理が進み、溜まり水が空になるのはいつ頃か。また、空になった場合、止水工事を実施する予定はあるのか。

A. 雑固体廃棄物減容処理建屋については、床面からの高さ 4,060mm であり、9 日程度でポンプが吸い込めるレベルまで溜まり水は無くなってしまう。雑固体廃棄物減容処理建屋とプロセス主建屋を繋いでいる地下通路から地下水が漏れこんでおり、ある程度水位が低下すると地下水をくみ上げることになる。ただし、現在は高濃度汚染水が溜まったこともあり、新たに止水工事を実施することは線量の関係で困難と考えている。現在は、2, 3 号機タービン建屋の溜まり水の受け入れ先として活用したいと考えている。

Q. 9 日程度で雑固体廃棄物減容処理建屋の溜まり水が空になった場合、プロセス主建屋の水をサリーで処理することになるのか。

A. その通り。

Q. 4 号機使用済燃料プールの塩分除去装置については本日試運転を実施しているが、その際に使用している水は使用済燃料プールの水をそのまま使用するのか。

A. その通り。一次系の熱交換器出口側に取り出し点があり、そこから水を引き込んで RO 膜を通して塩分除去を行う。

Q. 不具合が発生しなければ、本日午後から本格運転に移行するのか。

A. 運転性能等確認し所定の性能を確認できれば、そのまま継続して本格運転することになる。

Q. 溜まり水の累積処理量は本日 10 時時点で  $51,700\text{m}^3$  とのことだが、この値はサリーで処理した分も含まれているのか。

A. その通り。

Q. サリー単独運転時の除染係数は、本日判明するのか。

A. 昨夜から実施しているが、準備ができれば本日午後の会見でお示ししたい。

Q. サリーの除染係数の目標値は。

A. 設計上は10の5～6乗程度を見込んでおり、その程度の能力を発揮すれば期待通りということになる。なお、淡水化装置に移送するレベルとしては10の2乗程度まで除染できればよいので、サリーによって4桁程度除染することができれば性能としては満足である。

以 上